

茅ヶ崎里山公園 開園 20 周年記念

広報 さとやま デジタル版

里山公園 20 年のあゆみ

- 豊かな自然 野鳥観察 植物観察
 - 里山の風景 谷の家 (田炉裏、かまど)
 - 大型遊具 トランポリン ローラー滑り台
 - BBQ場 里の家
- 多様な遊び方を体験してください！
開園 平成 13 年 10 月 開設面積 35.2 ha

風のひろば



園長の挨拶と公園の紹介

開園 20 周年にあたり、ご挨拶申し上げます。

皆さまのご支援ご協力のもと、開園 20 周年の節目を迎えることができましたこと、心より感謝申し上げます。

公益財団法人 神奈川県公園協会は昭和 50 年 3 月に発足し、平成 13 年 10 月 28 日に神奈川県から「茅ヶ崎里山公園」の管理を受託して開園いたしました。

里山の景観を受け継ぎ、自然と人間の織り成す豊かな未来環境を創ることを目指して、これまで皆様とともに計画・整備を進め、里山の保全活動を進めてまいりました。

開園当初の面積は約 12.4 ヘクタールでありましたが、順次追加され、現在は約 35.2 ヘクタールにまで拡大されております。

その間、平成 19 年には、パークセンターがオープン。平成 20 年には「谷の家」が、平成 24 年には「里の家」がオープンいたしました。園内には、多目的広場、風の広場、駐車場、BBQ 場などがあり、どなたでもご利用いただけます。

20 周年を新たなスタートとして、里山ならではの豊かな自然とともに、心豊かな里山体験ができる公園として皆様をお迎えできるよう、今後も取り組んでまいります。



あさおか まさとし
園長 浅岡 正俊

茅ヶ崎里山公園の紹介

茅ヶ崎里山公園は、JR「茅ヶ崎駅」から北に 6km、小田急・相鉄・横浜市営地下鉄「湘南台駅」から南西に約 6km、JR「寒川駅」から東に約 3.6km に位置する計画面積 36.8 ヘクタールの都市公園です。

今では貴重となってしまった谷戸の環境を保全することや、レクリエーションの場として活用すること、そして、広域防災拠点としても機能することを目指して県が公園整備を推進してきました。

そして、21 世紀を迎えた最初の秋、表玄関にあたるエリアが完成し、21 番目の県立公園として産声をあげたのです。

「茅ヶ崎里山公園」という名称は、公募により決められ、里山ならではの豊かな自然とともに、里山文化が体験できる公園を目指して整備が続けられてきました。

里山はあるがままの自然ではありません。人の手が入って初めて守られるものです。この公園でも、さまざまなボランティア活動が行われています。ぜひ、日本の原風景のひとつである里山に接し、その文化を体験してみてください。



秋にはコスモスが彩を添えてくれます



「里の家」近くの菜の花畑



「谷の家」近くの竹林

茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会

里山公園とのお付き合いは、開園前の土地誘致交渉時から。開園時には「公園と地元の活性化」を目指し「茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会」が発足、会長に就任しました。

20年を振り返ると、本当にさまざまな出来事がありました。特に印象深いのは、開園から程なくして始まった鯉のぼりの掲揚。県民市民の方々から鯉のぼりを寄付していただき、「春の里山公園まつり」に合わせて飾り付けを行っています。また、東日本大震災の後、岩手県石巻市の小学校へ約250匹の鯉のぼりを貸し出したことも。「寄付して頂いた鯉のぼりは、どれも県民市民の思い出が詰まったもの。今後も里山の風物詩として多くの方々に楽しんでいただきたいと思います。」

会長 やの よしのり
矢野 福徳



「茅ヶ崎里山公園の発展と地域活性活動」と「里山公園が安心安全な公園であるような活動」を主に行っています。

具体的には、公園に遊びにきた方に季節感を味わってもらい、イベントを盛り上げ、子どもたちが笑顔になれるような活動を目指しています。

【主な活動内容】

- 春** 竹の子まつり、春の公園まつり、鯉のぼり掲揚など
- 夏** 七夕飾り、七夕まつり、夏休みラジオ体操、里山夏まつりなど
- 秋** 秋の公園まつり、畑の村まつり、レインボーフェスティバルなど
- 冬** 新春凧揚げ大会など
- 通年** 「キッチン里山」



鯉のぼり掲揚



まつりでの野菜販売



「キッチン里山」メニューの一例

茅ヶ崎里山公園倶楽部

「茅ヶ崎里山公園倶楽部」は、田んぼや畑、雑木林での作業を通じて、人と自然が共生してきた里山のしぐみを体験。里山環境を保全していくことを目的に、市民ボランティアと公園管理者が協働して活動しています。単なる農業体験に留まらず、「里山保全」を重要なコンセプトに掲げています。

【主な活動内容】

- 田んぼ活動** もち米作りなど
- 畑づくり** 小麦、サツマイモ、ジャガイモ作りなど
- 雑木林、竹林活動、生態調査**
間伐、薪作り、竹炭焼、草刈り、落ち葉かきなど
生態環境を守るための保全作業
- 広報班** 倶楽部の広報誌を編集、発行

退職前に「自然の中で体を動かす活動をした」と思い、ホームページでこの倶楽部を発見。活動内容が、まさに私がやりたかったことだったことから即座に入会、楽しく活動を続けてきました。平成20年に4代目として会長に就任し、現在に至っております。

この倶楽部には、幅広い年代の方が370名程(2021年度)参加しています。世代を超えて、自然を相手に活動していると、知らぬ間に元気になっているから不思議ですね。また、収穫物を使った料理やお菓子作りといったイベントも多数開催されているので、魅力は尽きません。

四季の変化を感じながら、健康的に楽しく、里山の景観保全に参加してみませんか？ 皆様の参加をお待ちしております。



田植えの様子



竹林整備の様子



12月に行われる「感謝祭」



会長 おかむら さだお
岡村 禎夫

公園年表 2001~2011年

1975年3月20日 「財団法人神奈川県公園協会」発足

1993年1月 「茅ヶ崎北部丘陵公園(仮称)」として都市計画決定
5月 用地買収に着手
1996年 工事着手

2000年9月 管理詰所完成
(建築面積 121.5㎡、木造平屋建て)



3月 「茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会」発足

2月 「茅ヶ崎里山公園倶楽部」という名称で会員募集

3月 公園協会創立30周年植樹
「平成の森」にクヌギとコナラの苗木30本と小出小卒業記念苗木としてヤマザクラ10本をこの春の卒業生と共同で植樹



写真は2021年12月

4月 倶楽部開設式



追加開園 (開園面積 19.8ha)

10月 「パークセンター」オープン

多目的ホール、会議室、活動ルーム、事務室(公園管理事務所)、赤ちゃん休憩室等あり。



4月1日

「公益財団法人 神奈川県公園協会」に移行

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

2008

2009

2010

2011

4~5月 公園の名称を一般から募集

(応募総数 621 通、321 案) 選考委員会により「茅ヶ崎里山公園」を公園の名称に選定した。茅ヶ崎里山公園花の名所づくり検討会にて、公園の花が「ヤマザクラ」、「ヒガンバナ」に決定。



ヒガンバナ



ヤマザクラ

10月28日 「茅ヶ崎里山公園」開園

(面積約 12.4ha) 「公園まつり」と開園式典、毎年地元開催されている「レインボーフェスティバル」を合わせ、同日開催。2万1,000人來園

11月 国土交通省の「関東の富士見百景」に「富士見の丘」からの富士山の眺望が選ばれる



4月 「谷の家」オープン

里山に人が住んでいた風情をかもし出す古民家風の建物で、農作業や四季折々の歳時などの体験場。一般利用者の立ち寄り拠点、茅ヶ崎里山公園倶楽部の活動拠点ともなる。



9月 谷の家でかまど造り



2月 茅ヶ崎市の広域避難場所として指定を受ける



11月 「里の家」オープン

食と農を通じて地域活性化を図る「畑の村」の拠点。名称を一般から募集（応募総数105通）し、選考委員会により選定。



7月 ヤギの「さとちゃん」と「ゆきちゃん」草刈り担当として飼育



※現在は飼育していません



10月 「里山パーベキュー場」オープン

3月 「キッチンさとやま」がパークセンター内にオープン



5月 「谷の家」10周年記念行事開催

（かまど体験、紙芝居、オカリナ&ギター、若竹汁、ドングリ茶、10年間のあゆみ展）



10月 「ジャンボカボチャ」を初めて栽培し、「秋の里山公園まつり」で披露。



2012

2013

2014

2015

2016

2017

2018

2019

2020

2021

3月 「谷の家」裏のり面整備工事完了



工事完了時



2021年

（写真提供：国土交通省）

6月 「第1回畑の村まつり」開催
（コンサート、一日レストラン、クラフト教室等）



3月 富士山が見える「県立茅ヶ崎里山公園内柳谷」が「ちがさき景観資源」に指定される



※写真は富士見の丘周辺から

4月 地元小学校と連携して「里山学校」をスタート
公園の畑で色々な野菜を栽培



10月 小出地区自治会連合会と合同防災避難訓練実施



3月 新型コロナウイルス感染症感染拡大により各種イベント中止

4月 茅ヶ崎市の事業に協力し、公園内でキッチンカーをスタート。

（新型コロナウイルスの影響を受ける飲食店の支援のため）



里山公園の面積の変遷



公園まつり



茅ヶ崎里山公園、茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会、茅ヶ崎里山公園倶楽部の3者実行委員会形式で実施。模擬店、演技発表、自然観察会、クラフト教室等が行われます。なかでも、春の鯉のぼり掲揚と秋の里山鍋はまつりの名物となっています。

春



秋



「谷の家」「里の家」イベント



季節感を楽しめるイベントが多数開催されています。そのほんの一部を紹介します。

やと谷

農作業や四季折々の歳時等の体験場である古民家風建物

七草がゆ



どんど焼き



里

農と食により地域活性化を図るゾーン「畑の村」の拠点施設



里山キッチン



畑の村まつり



里山の四季

里山公園で見られる四季折々の風景。
20年の間には、さまざまな光景が見られました。これからも、
風情たっぷりの景観で皆様のお越しをお待ちしております。



春

暖かな日差しに包まれ、春を感じる季節の訪れです。
里山の植物たちは芽を出し、色とりどりの花を咲かせ、
小さな虫たちもあちこちで見かけるようになりました。
春風に誘われて、のんびりと里山を散策してみませんか？



黒川のコブシと富士山



「倶利伽羅」たけのこ祭り



「雨前の丘」の花畑



爽やかな風に乗って泳ぐ鯉のぼり



「谷の家」装飾りの展示



夏

子どものころに、一日中駆け回った懐かしい景色の中で、楽しい時間を過ごしてみませんか？七夕飾りの短冊に願いを書いたり、真っ黄色に咲くヒマワリに元気をもったり…。夏も里山公園は見どころいっぱいです。



夏の青空に映えるヒマワリ



「谷の村」ではかわいい茶山子も



「倶利伽羅」流しそらめん



「谷の家」七夕飾り



冬

紅葉も終盤を迎え、霜柱を見かけるようになると、里山はもう冬。時には雪景色に被われることも…。動植物たちも静かにひっそりしています。
静かな里山の景観を楽しむにはお薦めの季節です。



「畑の村」も富士山も雪に被われて



「谷の家」の大樫干しは冬の風物詩



「七草粥」きどうぞし



一面の雪景色

